

■4-そう思う □3-どちらかといえば、そう思う □2-どちらかといえば、そう思わない □1-そう思わない

学校教育目標

<p><b>1 教育方針・目標の理解</b></p> <p>学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。</p>	<p><b>2 意欲的な学校生活</b></p> <p>子どもは、楽しい学校生活が送れていると思いますか。</p>	<p><b>3 教師の連携協力</b></p> <p>学校では、先生方が連携協力して教育活動に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】○「教育方針・目標の理解」において、教職員の4評価が100%であることが全ての教育活動を充実させた大きな要因と考えられる。学校からの一貫した情報発信による啓発の広がりが見える。○「児童の意欲的な学校生活」についても、全て4・3評価となっており、意欲的な教育活動が行われていると言える。○「教師の連携協力」では、4評価の占める割合が80~90%と高くなっているところは評価できるが、保護者評価で16%のやや不十分評価がある。真摯に受け止め改善していきたい。</p>		

<p><b>4 授業づくりの工夫</b></p> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<p><b>5 意欲的な学習態度</b></p> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】○「授業づくりの工夫」においては、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用を中心に授業改善に取り組んできた。その結果、児童より、「よく分かる・分かる」、「問題をよく考える・あきらめずに考える」というアンケート結果が得られた。また、「新しい問題を解いてみたい」という児童が9割を占め、学習意欲の向上が見られた。今後は、個人差への対応を工夫していきたい。</p>	

<p><b>6 総合的な学習の時間の充実</b></p> <p>子どもは、総合的な学習の時間に意欲的に取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】○移行措置により、新学習指導要領にそった内容で取り組んだ。「環境」「地域理解」「福祉」領域をメインに、地域教材に取り組んだこともあり、意欲的な姿が随所に見られた。</p>

<p><b>7 道徳、心の教育の充実</b></p> <p>学校は、思いやりの心や感謝の心などを大切にしている心の教育の充実に取り組んでいると思いますか。</p>	<p><b>8 あいさつ、礼儀の励行</b></p> <p>子どもは、あいさつがきちんとできていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○本年度は、新学習指導要領にそった道徳教育を実践してきた。全体計画・年間指導計画を全面改訂し、体験活動や他教科との関連を明らかにしながら、「総合単元的な道徳学習」を柱に実践してきた。特に、「命を大切にすること」と「規範意識」を重点価値として、毎学期実施したことで、児童の姿を感じた。○「あいさつ・礼儀」において、校内生活では、姿が見られ、高評価となっているが、地域や家庭生活においては、今後も継続指導の必要性を感じている。「まずは、家庭から」をテーマに、家庭との連携を強化して取り組んでいきたいと考えている。</p>	

<p><b>9 一人一人の生徒の尊重</b></p> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしている指導や対応ができていると思いますか。</p>	<p><b>10 友だちへの思いやり</b></p> <p>子どもは、友だちとなかよくできていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○「教育相談」を充実させ、定期・不特定の取組と家庭から相談がしやすい窓口作りに取り組んだことで、児童一人一人をしっかりと理解することができた。また、職員間の情報の共有化にも努めてきた。その成果として今回の高評価につながっていると考えられる。一方、「友だちへの思いやり」については、児童と家庭の評価の差異が大きい。校内での「互いのよさに気づく」取組、人権意識の高揚への取組等について、家庭への啓発を含めて、さらに取組を充実させていく必要を感じている。</p>	

<p><b>11 学校の支援体制</b></p> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>
<p>【学校から】○昨年度同様、支援を必要とする児童の実態把握と支援体制について、学期ごとに確認し、共通理解を図り取り組んできた。また、関係機関との連携を密にしながら、指導助言を仰ぎ教育的ニーズに応える取組を行ってきた。</p>

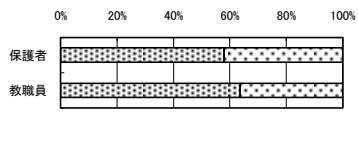
生徒指導 教育相談

<p><b>12 生徒理解</b></p> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていると思いますか。</p>	<p><b>13 規範意識</b></p> <p>子どもは、きまりやマナーを守っていると思いますか。</p>	<p><b>14 いじめや問題への対応</b></p> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>
<p>【学校から】○「児童理解」の基本的な考え方を「子どもを多面的に理解し、一人一人がもつよさや可能性を理解すること」に重点を置き、職員全体で取り組んできた。また、「いじめへの対応」については、いじめは絶対に許さないという基本スタンスで、教育相談やなかよしアンケートを定期的に実施し、組織的対応を心がけてきた。評価としては、昨年と比較すると高評価となっているが、保護者評価に約1割の不十分評価がある。この点を真摯に受け止め、校内体制を強化していきたい。さらに、「規範意識」に関しては、3評価が大きな割合を占めていることから、今後の継続した取組の必要性を感じている。道徳教育を中心に日常的な重点指導事項を精査し、年間を通じた指導を行うことによって、意識の高揚を図ってきたい。</p>		

## 健康教育 安全

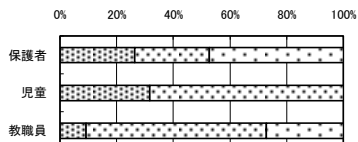
### 15 安全と事故防止

学校は、子どもの安全と事故防止に努めていると思いますか。



### 16 体力向上

子どもは、すすんで外遊びやスポーツをしていると思いますか。

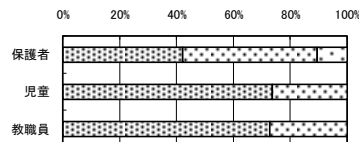


【学校から】○校区の実態及び今日的な課題に焦点化した取組を行った。特に「危険予知能力」と「危険回避能力」を向上させるため、自転車教室と年3回の避難訓練では、体験的学習を取り入れてきた。また、薬物乱用防止教室、携帯電話・インターネット等による犯罪防止についても取り組むことができた。○「体力向上」については、大きな課題が残った。授業では、体力診断テストの結果をもとに工夫改善がなされ、体力向上につながっている。しかし、積極的な外遊びやスポーツへの取組という点では不十分である。次年度の重点課題として取り組んでいく。

## 学校行事

### 17 学校行事への参加と工夫

学校では、運動会や学習発表会などの学校行事が工夫されていると思いますか。

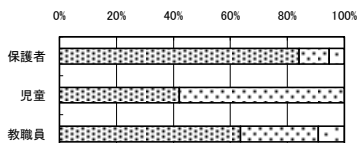


【学校から】○各行事のねらいを焦点化し、児童が主体的に関われるように取り組んできた。そのため、それぞれの行事で達成感や成就感を味わうことができた。保護者の約1割が工夫改善を望まれている。行事のねらいと児童の実態を吟味した上で取り組んでいく。

## 学校環境

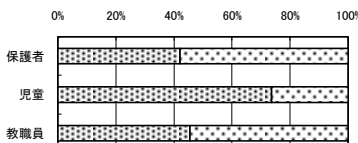
### 18 環境の整理・美化

学校では、校内外（花壇や掲示物など）がきちんと整理されていると思いますか。



### 19 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

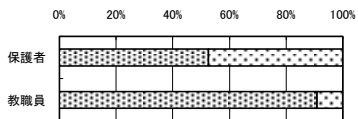


【学校から】○「環境整理・美化」について、本年度は、「季節感を感じる環境づくり」をテーマに取り組んだ。学校の植栽や花壇の花も種から育てた花を児童が定植し育てる取組を行った。また、掲示コーナーも更新時期を指定し、季節感が出るようにしてきた。ただ、更新ができていないコーナーや以前からそのままになっている掲示物等があり、今後整理の必要がある。○施設・設備の安全管理については、随時、市教委に連絡を取り、対応してきた。校舎や施設・設備が古くなっているところもあり、今後も安全管理については、十分注意をはらっていく。

## 情報の公開・発信

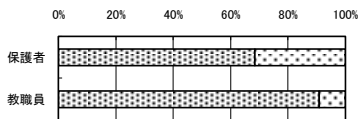
### 20 学校の予定等がわかる情報発信

学校からの文書等で、学校の情報が十分発信されていると思いますか。



### 21 教育活動への参加

学校が公開している教育活動（行事、授業等）は、保護者や地域の方が参加しやすいと思いますか。

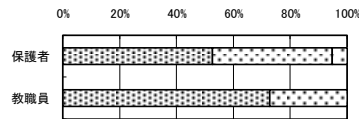


【学校から】○情報の公開及び発信については、「地域に根ざした学校づくり」を目指す観点から、特に、力を入れてきたところである。学校だよりや学級通信の毎週発行、各種会議での教育活動の現状報告、校長講義による学校経営方針の広報等、機会を捉えて行ってきた。今後もこれまでに以上に、教育活動の公開と学校経営の透明性が保てるよう努力していきたい。また、教育活動への参加についても本年度の取組を振り返り、子どもたちの姿がよく見えるものにしていく工夫していきたい。

## 家庭・地域との連携

### 22 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



【学校から】○本年度は、「学力向上」に焦点化し、家庭と連携して取り組んできた。その結果、家庭学習の習慣化が図られ、学力向上に大きく寄与することになった。本校の特色である「学校・家庭・地域が一体化」した取組の一つである。

## 来年度の具体的な取り組みについて

- 1 学校・家庭・地域が一体となった教育活動の充実について  
校経営方針「教育活動」「基本的生活・学習習慣の定着」等について、学校の考え方、具体的な取組の内容、協力していただくことなどを直接伝える機会を設定していく。（例）学校教育活動説明会等の実施。 ②学校便り・学級通信及びホームページの活用による情報発信の充実。 ③PTA活動を中心に学校と家庭・地域との連携強化を図る場を設定する。
- 2 「豊かな心」の育成について  
①道徳教育の充実を図る。特に「命を大切にすると規範意識を育てる」総合単元的道徳学習の毎学期の実践。さらに、「あいさつ・礼儀」についての日常的な取り組みを行う。（指導事項を吟味し、重点化した取組を家庭・地域と連携して取り組む） ②集会活動の内容を工夫し、全校一斉の学習ができる機会を設ける。
- 3 「体力向上」について  
①児童の「体力・運動能力」の実態を分析し、体育の授業を中心に取り組む。 ②日常的な取組として、朝のマラソンの縄跳び等を年間を通して取り組んでいく。 ③児童の実態や活動について、保護者への情報発信を適切に行っていく。 4  
「施設・設備の安全管理」や「環境・美化」について ①  
「季節感のある環境・美化」をテーマに、花作りや掲示の工夫を行っていく。 ②校内の安全点検の充実と施設使用の指導を徹底し、安全管理に努める。 ③施設・設備の修理については、市教育委員会と相談しながら、要求すべきことは要求していく。

## 学校関係者評価

- <総評>
- 1 先生方が一丸となって、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいただいていることがよく理解できた。特に学力の向上や豊かな心の育成など、子ども達の成長も感じることができた。今後は新たな課題に向けての取組をお願いする。
  - 2 他校との交流や保育園・中学校との連携など、継続した取組の成果が見られている。また、新たな取組も始められており期待するところが多い。ぜひ、しっかりやってほしい。
- <課題解決に向けて>
- 1 「学力の向上」については、中学校等への進学の際、子どもたちが自信をもって進学できるように、今後も取り組んでいただきたい。
  - 2 「あいさつ・礼儀」については、学校・家庭・地域が一体となって取り組む必要がある。それぞれで取り組むことを明らかにし、連携・協力していきたい。
  - 3 児童数の減少に伴って、現在実施している行事等のやり方を工夫する必要があるのではないかと。今後の検討課題としてほしい。
  - 4 「体力の向上」については、徐々に向上していることは理解できた。反面、子どもたちの実態として、外遊びやスポーツへの意欲が低いことも明らかである。この点についての改善をお願いする。 5 施設・設備の安全管理や修繕等安全管理をお願いする。また、環境美化については、示されたことを中心に取り組んでいただきたい。